

学生募集要項の内容に変更が生じる場合は、本校ホームページでお知らせします。

令和8年度

学生募集要項



推薦	インターネット出願受付期間 [入学願書（WEB 入力）・検定料払込]	令和7年12月1日（月） 9時から 令和7年12月18日（木）17時まで
	郵送書類[写真票・推薦書・調査書] 受付期間	令和7年12月15日（月）から 令和7年12月19日（金）まで（消印有効）
	面接日	令和8年1月10日（土）
	合格内定者発表日	令和8年1月16日（金）
学力	インターネット出願受付期間 [入学願書（WEB 入力）・検定料払込]	令和7年12月1日（月） 9時から 令和8年1月22日（木）17時まで
	郵送書類[写真票・調査書]受付期間	令和8年1月19日（月）から 令和8年1月23日（金）まで（消印有効）
	検査日	令和8年2月8日（日）
合格者発表日		令和8年2月13日（金）
合格者オリエンテーション		令和8年3月9日（月）
入学手続書類の提出期限 （簡易書留・速達郵便による郵送）		令和8年3月16日（月） （直接学生課教務係まで持参も可）

独立行政法人 国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校

目

教育目標，学生受入方針， 募集人員及び選抜の方法

1. 教育目標 1
2. 本校のアドミッション・ポリシー 1
3. 募集人員 2
4. 選抜の方法 2
5. 入学者選抜に関する合理的配慮の
提供に関して 2

推薦による入学者の選抜 (推薦選抜)

1. 出願資格 3
2. インターネット出願及び郵送書類
受付期間 3
3. 出願手続 4
4. 選抜方法 5
5. 合格内定者発表 5
6. 入学確約書 5
7. 「推薦による入学者の選抜」に合格
内定とならなかった者の取扱い 6
8. 指導要録「写」等関係書類の提出 6
9. 合格者オリエンテーション 6
10. 入学手続 6

学力検査による入学者の選抜 (学力検査選抜)

1. 出願資格 7
2. インターネット出願及び郵送書類
受付期間 7
3. 出願手続 7
4. 選抜方法 9
5. 「学力検査選抜」における
最寄り地等受験制度 10
6. 追試験 10

次

7. 合格者発表 10
8. 入学確約書 10
9. 指導要録「写」等関係書類の提出 10
10. 合格者オリエンテーション 11
11. 入学手続 11

受 験 心 得 等

受験心得

- (受験地：豊田高専用) 12
- 不正行為に該当する行為 13

入 学 案 内

1. 創立 14
2. 目的 14
3. 修業年限 14
4. 学科及び入学定員 14
5. 位置及び環境 14
6. 教育課程 14
7. 施設の概要 16
8. 学生生活 17
9. 学生寮 17
10. 卒業生の将来 17
11. 入学料・授業料の免除 20
12. 入学料の徴収猶予 20
13. 奨学金 20
14. 入学時に必要な主な経費 20

〔出願様式〕

- ・推薦書
- ・調査書

- ・本校位置図 巻末

教育目標，学生受入方針，募集人員及び選抜の方法

1. 教育目標

(1) ものづくり能力

社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成

(2) 基礎学力

実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立

(3) 問題解決能力

問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成

(4) コミュニケーション能力

科学的な分析に基づく論理的な記述力，明解な口頭発表能力，十分な討議能力，および国際的に通用するコミュニケーション能力の修得

(5) 技術者倫理

世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成

2. 本校のアドミッション・ポリシー（学生受入方針）

本校では社会の要請にこたえる実践的技術者を養成するため知識や技能に優れ，思考力や判断力を有し，優れた表現力で多様な人々と協働できる主体性を持った学生を受け入れるため次のようなアドミッション・ポリシーを定めます。

(1) 求める学生像

本科においては，以下の学生を受け入れます。

- 1) 一般教育，専門教育を十分理解できる能力を有する人
- 2) 特に，数学と理科に優れた能力を有する人

推薦選抜では，上記に加え以下に示す多様な学生も受け入れます。

- 3) ものづくりに興味を抱く人
- 4) 生徒会，スポーツ，ボランティア等の活動や海外生活などの経験を通して育まれたリーダーシップ等，さまざまな能力を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

本校の教育理念に基づき，教育目標に沿った人材を育成するために，異なる選抜方法と多面的な評価方法により入学希望者を選抜します。

[一般選抜（学力検査等による選抜）]

高等学校受験資格を有するすべての者を対象とした一般選抜（学力検査）を行います。

まず，本校で学習するために必要な基礎的・汎用的能力を有しているかを調査書によって評価します。また，一般教育，専門教育を十分理解できる能力を有しているかを判断するために，学力検査によって数学，理科，英語，国語及び社会の基礎学力を評価します。

[推薦選抜（面接等による選抜）]

出願資格を満たし、各中学校から推薦されることを前提とします。

まず、本校で学習するために必要な基礎的・汎用的能力を有しているかを調査書によって評価します。また、リーダーシップ等のさまざまな能力を有しているかを推薦書によって評価します。さらに、明確な志望動機、ものづくりに対する興味や入学後の意欲等を有しているかを面接によって評価します。

3. 募 集 人 員

学科別の募集人員は、下表のとおりとします。

学 科	入 学 定 員
機 械 工 学 科	40名
電 気 ・ 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	40名
情 報 工 学 科	40名
環 境 都 市 工 学 科	40名
建 築 学 科	40名
合計 200名	

4. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、推薦及び学力検査の二つの方法で行います。

ただし、推薦による募集人員は、各学科とも入学定員の30%程度とします。

5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

豊田工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する受験者は、早めの下記相談窓口までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあります。推薦選抜および学力試験選抜それぞれの郵送書類提出期限の一个月前を過ぎてからの相談及び申請では、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談内容について質問する場合があります。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障がいの状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

資料提出の要不要に関してもご相談ください。ご提出いただいた資料について要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後の修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口: 豊田工業高等専門学校 学生課教務係

〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地

TEL: 0565-36-5912

推薦による入学者の選抜（推薦選抜）

1. 出 願 資 格

推薦入学を志願できる者は、学業・人物とも優秀で、次の各条件に該当し、中学校長の推薦を得た者としてします。

- (1) 令和8年3月に中学校を卒業見込みの者若しくはこれに準ずる学校を卒業見込みの者若しくは義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程を修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 当該学科を志望する動機・理由等が明確・適切である者
- (3) 第3学年の成績が学年の上位15%以内の者
加えて生徒会活動、部活動、学外活動(ボランティア活動含む)、英語・数学・漢字検定取得、海外生活経験等に優れた実績を有する者

2. インターネット出願及び郵送書類受付期間

受験者全員がインターネットでの出願となります。詳細は本校ウェブページで11月ごろお知らせします。

https://www.toyota-ct.ac.jp/entrance/nyuushi_honka/

推薦書と調査書は、中学校で紙の形式で作成いただいたものを、写真票と併せて郵送していただきます。



インターネット出願受付期間 [入学願書 (WEB 入力) ・検定料払込※1]	令和7年12月1日(月) 9時から 令和7年12月18日(木) 17時まで
郵送書類※2 [写真票・推薦書・調査書] 受付期間	令和7年12月15日(月) から 令和7年12月19日(金) まで (消印有効)

※1 検定料払込は、令和7年12月18日(木) 17時までに完了してください。

※2 郵送による受付に限る。

3. 出 願 手 続

インターネット出願と郵送書類の提出をもって出願手続きが完了となります。余裕をもってインターネット出願手続きから進めてください。

(1) インターネット出願[入学願書(WEB 入力)・検定料払込]

志願者は、インターネット出願サイトへの入力及び検定料(16,500円)の納入を行い、写真票を印刷してください。インターネット出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、次の表にあるとおり、写真票に写真を貼付してください。

(2) 郵送書類[写真票・推薦書・調査書]の提出

志願者は、次の郵送書類をとりそろえ、切手を貼った角形2号封筒(240×332mm)にインターネット出願サイトで印刷した宛名票を貼り、**簡易書留・速達郵便もしくはレターパックプラス**で送付してください。**レターパックプラスで提出する場合は、郵便局窓口へ差し出してください。**

(注) 複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとにまとめ、それを一括して在籍中学校の封筒により『**推薦選抜郵送書類在中**』と朱書し、送付していただいてもかまいません。

また、受領書の送付を希望する学校は、任意の受領書及び住所等を記入した封筒(必要分の切手を貼ったもの)を同封してください。

郵 送 書 類

1) 写 真 票	「インターネット出願サイト」で出力したものを印刷し、宛名票と切り離したものを。顔写真データをアップロードしていない場合は、出願前3か月以内に撮影した胸部より上かつ正面無帽(受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける)の写真(縦4cm×横3cm)を貼り付けること。
2) 推 薦 書	本校所定の様式を使用し、中学校長が作成したもの。
3) 調 査 書	本校所定の様式を使用し、中学校長が作成したもの。 「調査書記入上の注意事項」を参照してください。

- ・推薦書及び調査書については、本校ホームページ (<https://www.toyota-ct.ac.jp/>)、**トップページ > 入試情報 > 本科学生募集案内** から様式(ワードファイル)をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。
- ・郵送書類受付期限までに第3学年の成績(3学期制の場合は2学期、2学期制の場合は1学期(12月末の成績がある場合はその成績))が間に合わない場合は、その旨事前に申し出があれば、調査書のみ1月5日(月)提出(必着)として調整します。

個人情報の取扱い

入学願書(WEB 入力)や調査書等に入力あるいは記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。(②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。)

- ① 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料、授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

○郵送書類等の送付先

〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地
豊田工業高等専門学校 学生課教務係

注意事項

1. 受理した郵送書類は返還しません。
2. 出願受付後における**志望学科の変更及び追加は認めません。**
3. 出願内容に虚偽の入力や記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
4. 出願受付後、保護者の住所又は電話番号が変わった場合は、直ちに学生課教務係に連絡してください。
5. 推薦書、調査書は、黒インク又は黒ボールペンで記入してください。
本校ウェブページから本様式をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。

4. 選 抜 方 法

- (1) 推薦による入学者の選抜は、**第1志望学科についてのみ行います。**
- (2) 推薦による入学者の選抜は、中学校長の提出した推薦書・調査書及び面接の結果を総合して行います。
- (3) 面接の実施については、下表のとおりとします。

	日 時	場 所
面 接	令和8年1月10日（土） (時間については、インターネット出願サイトに登録したメールアドレス宛に通知します。1月7日（水）までに通知が届かない場合は学生課教務係までお問合せください。)	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)

面接当日は、**指定された時間に本校学生玄関前に集合**し、係員の指示に従ってください。

なお、面接には、ポスター、写真及び作品等は持ち込むことはできません。

あらかじめ受験心得(P12)を確認してください。

また、午前7時の時点で、「豊田市西部」に暴風警報、暴風雪警報、大雨特別警報、暴風特別警報又は暴風雪特別警報が発令されている場合は、面接日を翌日の1月11日（日）に変更します（時間の変更はありません）。

5. 合 格 内 定 者 発 表 令和8年1月16日（金）10時

本校ホームページ(<https://www.toyota-ct.ac.jp/>)に掲載し、中学校長宛郵送(1月16日(金)速達郵便で発送)により書面で通知します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じられません。

6. 入 学 確 約 書

「合格内定通知」を受けた者は中学校経由で「入学確約書」をお渡ししますので、**令和8年1月23日（金）（消印有効）**までに本校の校長に中学校経由で「**入学確約書**」を提出してください。(簡易書留郵便もしくはレターパックプラスによる郵送とします。レターパックプラスで提出する場合は、郵便局窓口へ提出してください。)この期限内に入学確約書を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

7. 「推薦による入学者の選抜」に合格内定とならなかった者の取扱い

「推薦による入学者の選抜」の結果、合格内定とならなかった者で、あらかじめ「**学力検査選抜を希望した者**」に限り、「**学力検査による選抜受験者**」となることができます。この場合インターネット出願サイトへの再入力、検定料の再支払い及び郵送書類の再提出は**必要ありません**。

また、受験票は推薦による入学者選抜時のものを使用しますので、通知等いたしません。学力検査実施日の**令和8年2月8日（日）8時50分までに本校学生玄関前に集合してください**。（詳しくは「学力検査選抜」を参照ください。）

ただし、志望学科を変更する場合は再出願となり、インターネット出願サイトへの入力、検定料の支払い及び郵送書類の提出が必要となります。

8. 指導要録「写」等関係書類の提出

推薦による合格者を有する中学校は、**令和8年3月末日**までに指導要録「写」等関係書類を学生課教務係へ送付してください。

また、受領書の送付を希望する学校は、任意の受領書及び**住所等を記入した封筒（必要分の切手を貼ったもの）を同封**してください。

9. 合格者オリエンテーション

合格者に対して入学オリエンテーションを以下のとおり実施します。詳細については、2月13日（金）の学力検査選抜による合格者発表後に在籍中学校を経由してお知らせします。

(1) 実施日時 令和8年3月9日（月）

実施時間は、各中学校経由で送付される本人宛合格通知に同封し、お知らせします。

(2) 場 所 後日、お知らせします

(3) 対 象 者 合格者・保護者

(4) 内 容 授業料・学寮関係の諸費用の納入方法並びに入学関係書類の提出方法について説明します。

10. 入 学 手 続

入学予定者について、書類の提出等入学手続を実施します。
詳細については、合格者オリエンテーション時に説明します。

学力検査による入学者の選抜（学力検査選抜）

1. 出 願 資 格

学力検査を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者(令和8年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 中学校に準ずる学校を卒業した者(令和8年3月卒業見込みの者を含む。)
- (3) 義務教育学校を卒業した者(令和8年3月卒業見込みの者を含む。)
- (4) 中等教育学校の前期課程を修了した者(令和8年3月修了見込みの者を含む。)
- (5) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者)

2. インターネット出願及び郵送書類受付期間

受験者全員がインターネットでの出願となります。詳細は本校ウェブページで11月ごろお知らせします。

https://www.toyota-ct.ac.jp/entrance/nyuushi_honka/

調査書は、中学校で紙の形式で作成いただいたものを、写真票と併せて郵送していただきます。



インターネット出願受付期間 [入学願書 (WEB 入力) ・検定料払込※1]	令和7年12月1日 (月) 9時から 令和8年1月22日 (木) 17時まで
郵送書類※2 [写真票・調査書] 受付期間	令和8年1月19日 (月) から 令和8年1月23日 (金) まで (消印有効)

※1 検定料払込は、令和8年1月22日 (木) 17時までに完了してください。

※2 郵送による受付に限る。

3. 出 願 手 続

インターネット出願と郵送書類の提出をもって出願手続が完了となります。余裕をもってインターネット出願手続から進めてください。

- (1) インターネット出願[入学願書 (WEB 入力)・検定料払込]

志願者は、インターネット出願サイトへの入力及び検定料(16,500円)の納入を行い、写真票を印刷してください。インターネット出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、次の表にあるとおり、写真票に写真を貼付してください。

- (2) 郵送書類[写真票・調査書]の提出

志願者は、次の郵送書類をとりそろえ、切手を貼った角形2号封筒(240×332mm)にインターネット出願サイトで印刷した宛名票を貼り、**簡易書留・速達郵便もしくはレターパックプラス**で送付してください。**レターパックプラスで提出する場合は、郵便局窓口へ差し出してください。**

(注) 複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとにまとめ、それを一括して在籍中学校の封筒により『**学力検査選抜郵送書類在中**』と**朱書**し、送付していただいてもかまいません。

また、受領書の送付を希望する学校は、任意の受領書及び住所等を記入した封筒(必要分の切手を貼ったもの)を同封してください。

郵 送 書 類

1) 写 真 票	「インターネット出願サイト」で出力したものを印刷し、宛名票と切り離したもの。顔写真データをアップロードしていない場合は、出願前3か月以内に撮影した胸部より上かつ正面無帽（受験の際、眼鏡を使用する者は眼鏡をかける）の写真（縦 4cm×横 3cm）を貼り付けること。
2) 調 査 書	本校所定の様式を使用し、中学校長が作成したもの。 「調査書記入上の注意事項」を参照してください。

調査書については、本校ホームページ（<https://www.toyota-ct.ac.jp/>）、**トップページ > 入試情報 > 本科学生募集案内** から様式（ワードファイル）をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。

個人情報の取扱い

入学願書（WEB 入力）や調査書等に入力あるいは記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。（②～⑤については、入学者の情報のみ利用します。）

- ① 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ② 入学後の教育・指導
- ③ 入学料、授業料の免除申請の審査
- ④ 奨学金申請の審査
- ⑤ 本校教育後援会及び同窓会の事務

○郵送書類等の送付先

〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地
豊田工業高等専門学校 学生課教務係

注意事項

1. 受理した郵送書類は返還しません。
2. 出願受付後における**志望学科の変更及び追加は認めません。**
3. 出願内容に虚偽の入力や記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
4. 出願受付後、保護者の住所又は電話番号が変わった場合は、直ちに学生課教務係に連絡してください。
5. 調査書は、黒インク又は黒ボールペンで記入してください。
本校ウェブページから本様式をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。

4. 選 抜 方 法

本校のアドミッションポリシーに従って以下のとおりとします。

- (1) 学力検査による入学者の選抜は、**第1志望学科～第3志望学科について行います。**
- (2) 学力検査による入学者の選抜は、学力検査の成績、中学校長からの調査書を総合して行います。
- (3) 学力検査は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科で実施し、各教科100点の配点（合計500点）とします。また、解答方法はマークシート方式とします。
- (4) 合否判定方法は以下のとおりとします。

第1段階合格者判定

同一学科を第一志望とした受験者の中で、学力検査の成績が上位4名以内に入る者は、当該学科の合格者となります。

第2段階合格者判定

以下の方式により順位付けを行います。

$$\begin{array}{rcccl} \text{総合得点} & = & \text{内申点} [(\text{評定得点}) \times 2] & + & \text{学力検査成績} \\ \mathbf{720} & & \mathbf{220} & & \mathbf{110} & & \mathbf{500} \end{array}$$

志望学科の順位に関係なく順位付けされた受験者の中で、当該学科の合格者予定数内にある者は、総合的判定により当該学科の合格者となります。ただし、同一受験者が複数学科において合格者予定数内に入っている場合、志望順位の高い学科の合格者として取り扱います。

評定得点とは、中学校の調査書に記載された2年生及び3年生の9教科の評定（ただし、数学及び理科については、2倍とした数値）の合計です。（最高点110点）

(5) 学力検査日時 令和8年2月8日（日）

教科(配点)	時 間	場 所
理科(100点)	9時30分～10時20分	豊田工業高等専門学校 (豊田市栄生町2丁目1番地)
英語(100点)	10時40分～11時30分	
数学(100点)	11時50分～12時40分	
国語(100点)	13時30分～14時20分	
社会(100点)	14時40分～15時30分	

学力検査当日は、**8時50分までに本校学生玄関前に集合**し、係員の指示に従ってください。また、昼食を持参してください。

あらかじめ受験心得及び不正行為に該当する行為(P12, 13)を確認してください。

5. 「学力検査選抜」における最寄り地等受験制度

国立高等専門学校機構では、「学力検査選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校以外に、高専機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校学生課教務係まで、**必ず事前の相談**をお願いします

相談期間：令和7年11月4日（火）～令和8年1月22日（木）

最寄り地等受験制度：会場一覧掲載先（高専機構ウェブサイト）

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>

事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

「推薦選抜」は、本制度の対象外です。



6. 追 試 験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、学力検査当日に受験することができなかった受験生は、**2月15日（日）**に追試験を受験することができます。出願者で該当する場合に詳細をお知らせします。

7. 合 格 者 発 表 令和8年2月13日（金） 10時

本校ホームページ(<https://www.toyota-ct.ac.jp/>)に掲載し、中学校長宛郵送(2月16日(月)速達郵便で発送)により書面で通知します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じられません。

8. 入 学 確 約 書

「合格通知(推薦選抜による合格者を除く)」を受けた者は、中学校経由で「入学確約書」をお渡します。ので、**令和8年2月24日（火）（消印有効）**までに本校の校長に中学校経由で「**入学確約書**」を提出してください。(郵送は必ず**簡易書留郵便もしくはレターパックプラス**によるものとします。**レターパックプラスで提出する場合は、郵便局窓口へ差し出してください。**)この期限内に入学確約書を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

9. 指導要録「写」等関係書類の提出

合格者(推薦選抜合格者を含む)を有する中学校は、**令和8年3月末日**までに指導要録「写」等関係書類を学生課教務係へ送付してください。

また、受領書の送付を希望する学校は、任意の受領書及び住所等を記入した封筒(必要分の切手を貼ったもの)を同封してください。

10. 合格者オリエンテーション

合格者に対して入学オリエンテーションを以下のとおり実施します。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 実施日時 | 令和8年3月9日（月） |
| | 実施時間は、各中学校経由で送付される本人宛合格通知に同封し、お知らせします。 |
| (2) 場 所 | 後日、お知らせします |
| (3) 対 象 者 | 合格者・保護者 |
| (4) 内 容 | 授業料・学寮関係の諸費用の納入方法並びに入学関係書類の提出方法について説明します。 |

11. 入 学 手 続

入学予定者について、書類の提出等入学手続を実施します。
詳細については、合格者オリエンテーション時に説明します。

受 験 心 得（受験地：豊田高専専用）

【推薦選抜・学力検査選抜共通】

1. 受験票は検査会場に必ず携帯し、係員の求めに応じて提示してください。
2. 遅刻者は検査本部の指示を受けてください。ただし、推薦による選抜においては面接の開始時刻に遅れて検査室に到着した者については、受験を許可しません。また、学力検査選抜においては検査開始時刻から20分を経過した後に検査室に到着した者については、受験を許可しません。
3. 携帯電話の電源は、必ず切って、かばんに入れておいてください。
4. 各選抜試験の当日、上履きは必要ありません。
5. 保護者控室はありません。何らかの理由により保護者の付き添いが必要な場合は、あらかじめ連絡してください。

【推薦選抜】

1. 推薦による選抜の面接の開始時間は、別途、電子メールにて指定します。
2. 推薦による選抜の面接には、ポスター、写真及び作品等は持ち込むことはできません。
3. 学力検査選抜併願者は、同じ受験番号を使用します。

【学力検査選抜】

1. 学力検査当日は8時50分までに本校学生玄関前に集合し、係員の指示に従ってください。
2. 学力検査当日は筆記用具（黒鉛筆（HB）及びプラスチック製の消しゴム）及び昼食を持参してください。
3. 受験票は検査中机上の受験番号付近に置いてください。
4. 検査中、不正行為があると認められたときは、直ちに退場を命じ、以後の受験は認めません。不正行為に該当する行為については、次頁を確認ください。
5. 解答作成に必要な筆記用具、時計以外の持ち物は机の下に置いてください。
6. 時計は検査室に設置しませんので、時刻表示および計時機能のみを使用できるものを各自で準備してください。
その際、アラーム等の音が鳴らないように設定しておいてください。
ウェアラブル端末、キッチンタイマー、通信機能や辞書機能、電卓機能を備えたもの（それらの機能の有無が判別しづらいものも含む）、秒針等の音がするもの、大型のものは使用できません。
7. 休憩中も連絡する場合がありますので注意してください。
8. 検査中、トイレや気分が悪くなった時は、手を挙げて係員に合図してください。
9. 校内に公衆電話はありませんので、必要に応じて携帯電話をお持ちください。但し、学力検査時には電源を切り、かばんにしまってください。

学力検査で最寄り地等受験制度により豊田高専以外で受験することが決まった受験生は、その会場の指示に従ってください。

不正行為に該当する行為

① 次のことをすると不正行為となる。

ア 受験票・写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の教科に関係するメモやコピーなどを机上などに置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の解答などを見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を，その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を検査室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 検査時間中に，以下に挙げる補助具や電子機器類を使用すること。

- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆などを含む），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙などの補助具

- ・携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラスなど。），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤーなどの電子機器類

※イヤホンについては，耳に装着していれば，使用しているものとみなす。ただし，事前に受験上の配慮として許可している者は除く。

ク 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず，筆記用具を持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがある。

ア 検査時間中に，①キに挙げる補助具や電子機器類，教科書，参考書，辞書などの書籍類をカバンなどにしまわず，身に付けていたり手に持っていたりすること。

イ 検査時間中に，携帯電話や時計などの音（着信・アラーム・振動音など。）を鳴らすなど，検査の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。

エ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 検査場において検査監督者などの指示に従わないこと。

カ その他，検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入 学 案 内

高等専門学校とは

高等専門学校は、科学技術の急速な進展と産業界の強い要望により、技術者の不足に応え、有能な技術者の養成を使命として昭和37年度に創立されました。

この制度は、6. 3. 3. 4の学校体系とは別な6. 3. 5の学校体系に基づき、中学校卒業後の5年間を一貫した課程によって、効果的に一般教育を実施するとともに、充実した専門教育を行うものです。

豊田工業高等専門学校の概要

1. 創 立 昭和 38 年4月1日

2. 目 的 深く工業に関する専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

3. 修 業 年 限 5年

4. 学科及び入学定員

機械工学科 40名 電気・電子システム工学科 40名
情報工学科 40名 環境都市工学科 40名 建築学科 40名

5. 位置及び環境

愛知県のほぼ中央、名古屋市街地より東へおよそ35kmに位置する豊田市の緑豊かな丘陵地に122,860 m²の面積を有し、学術向上、人間形成をはぐくむのにふさわしい環境にあります。

6. 教育課程（令和8年度予定）

授業科目は、各学科共通の「一般科目」と各学科ごとに異なる「専門科目」とで構成されていますが、両者を有機的に関連させ、教育の効率化を図っています。

(1) 一般科目に関する授業科目

国語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ 日本語表現 公共 地理 歴史 歴史総合 倫理	基礎解析Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ 微分方程式 確率 線形数学Ⅰ，Ⅱ 総合理科 物理Ⅰ，Ⅱ	物理実験 化学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ 英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ 英語Ⅰ 英語会話 英語表現基礎	英語表現 科学英語基礎Ⅰ，Ⅱ 保健体育Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ
--	--	--	------------------------------------

(2) 一般科目の並行開講科目（並行開講科目は、1科目を選択し、受講します。）

哲学Ⅰ 現代社会学Ⅰ 法学Ⅰ 経済学Ⅰ	哲学Ⅱ 現代社会学Ⅱ 法学Ⅱ 経済学Ⅱ	英語Ⅲ ドイツ語	英語Ⅱ 文学特論 人文科学特論Ⅰ 社会科学特論Ⅰ	人文科学特論Ⅱ 社会科学特論Ⅱ
------------------------------	------------------------------	-------------	-----------------------------------	--------------------

(3) 各学科の専門科目に関する授業科目

機械工学科	電気・電子システム工学科	情報工学科	環境都市工学科	建築学科
機械工作法Ⅰ，Ⅱ	電気基礎演習	コンピュータリテラシ	情報基礎	情報基礎
基礎実習	基礎電気工学	プログラミングⅠ，Ⅱ	測量学Ⅰ，Ⅱ	建築C A DⅠ，Ⅱ
工学基礎演習	情報基礎	情報技術概論	測量実習Ⅰ，Ⅱ	建築設計製図Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ
情報基礎	創造電気実験実習	情報基礎	環境工学基礎	建築構法・木質構造
材料学Ⅰ，Ⅱ	電気英語基礎Ⅰ，Ⅱ	数理工学演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ	建設材料学Ⅰ，Ⅱ	空間デザイン
情報工学Ⅰ，Ⅱ	電気数学	情報工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ	防災リテラシー	建築構造力学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
工業力学Ⅰ，Ⅱ	電気回路	プログラミングⅡ	環境都市工学基礎演習	応用物理学
基礎製図	マイクロコンピュータ工学	デジタル回路Ⅰ，Ⅱ	設計製図基礎	物理Ⅲ
メカトロニクス実習	電気基礎実験	回路理論Ⅰ，Ⅱ	都市づくり入門	技術表現法
応用物理学	応用物理学	工学実験Ⅰ，Ⅱ	地球環境科学	建築計画Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
物理Ⅲ	物理Ⅲ	応用物理学	構造力学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	建築史Ⅰ，Ⅱ
材料力学Ⅰ，Ⅱ	基礎交流回路	物理Ⅲ	コンクリート構造学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	建築環境工学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
機械要素設計	電気磁気学Ⅰ，Ⅱ	アルゴリズムとデータ構造	応用物理学	建築材料
機械設計製図	プログラミング基礎	コンピュータ工学	物理Ⅲ	統計学
創造総合実習	PBL実験Ⅰ，Ⅱ	過渡現象論	水環境工学	解析学
統計学	電気電子工学実験Ⅰ，Ⅱ	エンジニアリングデザインⅠ，Ⅱ	水理学Ⅰ，Ⅱ	建築環境実験
解析学	解析学	解析学	土質力学Ⅰ，Ⅱ	建築設備Ⅰ，Ⅱ
熱力学Ⅰ，Ⅱ	電気技術英語Ⅰ，Ⅱ	オブジェクト指向プログラミング	環境都市工学実験Ⅰ，Ⅱ	建築構造実験
水力学Ⅰ，Ⅱ	交流回路	システムプログラム	プロジェクトデザインⅠ，Ⅱ	鉄筋コンクリート構造
機械運動学	回路理論	ソフトウェア設計	統計学	鉄骨構造
機械力学Ⅰ，Ⅱ	国際標準電気電子工学Ⅰ，Ⅱ	コンピュータアーキテクチャⅠ，Ⅱ	解析学	建築学輪講
基礎電気磁気学	電子回路	電気磁気学	情報処理	建築材料実験
電気電子回路	電気計測	信号解析	建設設計論	建築生産
工学実験	エネルギー変換工学Ⅰ，Ⅱ	情報ネットワーク	都市計画	建築法規
機械システム設計	電子工学	通信工学	交通計画	建築学ゼミナール
制御工学	プログラミング技法	サイバーセキュリティ	環境衛生工学	都市計画
卒業研究	電気電子工学ゼミ	知能メディア処理	環境都市応用工学	建築振動学
	統計学	統計学	データサイエンス	構造設計
	電力工学	プログラミング言語論	設計製図	基礎構造
	システム制御工学	コンピュータシステム設計	リモートセンシング	卒業研究
	パワーエレクトロニクス	情報回路理論	土木計画学	
	半導体工学	制御工学	河川工学	
	ディジタル回路	形式言語論	鋼構造	
	応用情報技術	離散数学	建設施工	
	卒業研究	数値解析	卒業研究	
		情報理論		
		卒業研究		

7. 施設の概要

■土地

■建物

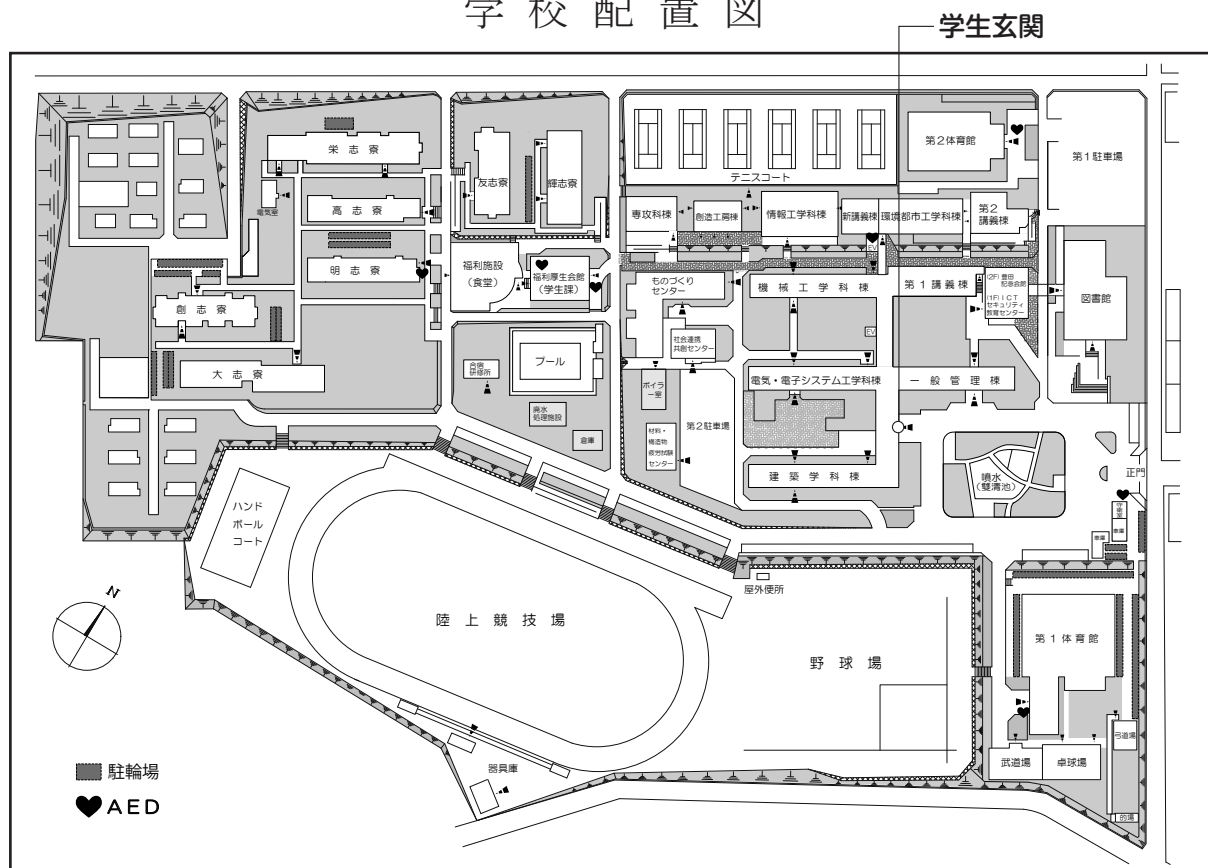
総面積	122,860 m ²
校舎及び管理棟	16,157 m ²
ものづくりセンター	795 m ²
ICT セキュリティ教育センター・豊田記念会館	625 m ²
図書館	1,611 m ²
第1体育館	1,663 m ²
第2体育館	880 m ²
武道場	296 m ²
弓道場	147 m ²
卓球場	348 m ²
学寮施設	12,063 m ²
合宿研修所	196 m ²
材料・構造物疲労試験センター	339 m ²
創造工房棟	502 m ²
福利厚生会館	792 m ²
福利施設(食堂)	998 m ²
社会連携共創センター	413 m ²

■屋外競技

施設

陸上競技場(400mトラック8コース)	
野球場	1面
テニスコート	6面
ハンドボールコート	1面
プール(25m7コース)	

学 校 配 置 図



8. 学生生活

全人格の形成を目標とする学校教育では、学生生活の充実が重要な役割をなしています。本校ではスポーツその他の活動を通じて、学生の自主的な活動の充実に努力しています。学生生活の中心となる学生組織は、学生会であり、学生会には次の部及び同好会があります。

体育部門 陸上競技部、水泳部、硬式野球部、ソフトテニス部、テニス部、卓球部、サッカー部、バスケットボール部、女子バスケットボール部、バレーボール部、女子バレーボール部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部、山岳部、空手道部、バドミントン部、ラグビーフットボール部

文化部門 吹奏楽部、写真部、自動車部、インターアクトクラブ、軽音楽部、コンピュータ部、囲碁・将棋部、茶道部、演劇部、スペース・デザイン研究部、ジャグリング部、総合創作部、鉄道航空研究同好会、機巧同好会、天文同好会、総合航空技術研究同好会

なお、東海地区の国立高専5校の間で毎年地区体育大会を開いて日頃の鍛錬の成果を競っています。更に、毎年全国高等専門学校体育大会(国立51校、公私立7校、計58校)が開催されています。

9. 学 生 寮

本校には教育施設の一つとして、学生の修学を助成し、共同生活を通じて人間形成を助長するための学生寮が設置されています。令和7年9月に新しい低学年男子寮が完成し、約 570 名が寮生として生活する予定です。

入学時に入寮を希望する第1学年は優先的に入寮できます。第2学年以上は入寮希望者が学生寮の収容定員数を超えてしまうため、毎年入寮選考があります。

10. 卒業生の将来

(1) 就職状況

本校は、昭和43年3月第1回卒業生を社会に送り出して以来、それぞれの分野で産業界の期待に応え、活躍しています。

創立以来一貫して産業界からの求人要求は安定しており、別表のとおり昨年度も多くの求人をいただきました。

これは高等専門学校の少人数教育、特に実験・実習に重点を置く実践的な教育が産業界に認められ、卒業生の実社会における活躍の実績が高く評価されているからです。

(2) 進学について

卒業後、更に勉学を希望する者には、次の三つの進路があります。

ア. 高等専門学校専攻科に進学する。

2年間の修業年限をもって、高専各学科の勉学の上に、工業に関する高度な専門的知識と技術を教授し、大学評価・学位授与機構の審査により、学士(工学)の学位が取得できます。したがって、専攻科は大学の学士課程と同等です。

イ. 大学(主に工学部)の第3学年(一部の大学では第2学年)に編入学する。

多くの国公立大学が編入学を受け入れています。

また、高等専門学校卒業生を受け入れるために豊橋技術科学大学・長岡技術科学大学が設置されています。

ウ. 指定校推薦制度により編入学する。

早稲田大学等より推薦校の指定を受けています。(令和7年度現在)

令和7年3月卒業者の求人・就職・進学状況

	卒業 者	就 職 関 係				進 学 者	自 営・ そ の 他
		就 職 希 望 者 A	就 職 者 B	就 職 率 B/A × 100	求 人 数		
機械工学科	34 (3)	21 (3)	20 (3)	95.2	631	13 (0)	1 (0)
電気・電子システム工 学科	42 (6)	9 (2)	9 (2)	100.0	618	32 (3)	1 (1)
情報工学科	44 (6)	17 (3)	17 (3)	100.0	514	26 (3)	1 (0)
環境都市工学科	38 (12)	26 (8)	26 (8)	100.0	336	12 (4)	0 (0)
建築学科	39 (21)	25 (17)	25 (17)	100.0	286	14 (4)	0 (0)
計	197 (48)	98 (33)	97 (33)	99.0	2,385	97 (14)	3 (1)

()は内数で女子

(3) 本校専攻科の就職・進学状況

令和7年3月専攻科修了者の就職・進学状況

	修 了 者	就 職 者	進 学 者	自 営・ そ の 他
電子機械工学専攻	8	6	2	0
建設工学専攻	8	7	1	0
情報科学専攻	5	4	0	1
計	21	17	3	1

(4) 卒業後の資格(令和7年度現在)

ア. 環境都市工学科

卒業と同時に「測量士補」の資格が取得できます。(測量関連科目単位をすべて修得し、卒業した場合)

所定の実務経験を経て次の資格が取得できます。

測量士, 第1種, 第2種ダム水路主任技術者

所定の実務経験を経て次の受験資格が取得できます。

コンクリート技士, コンクリート主任技士等

イ. 建築学科

卒業と同時に「1級建築士」, 「2級建築士」及び「木造建築士」の受験資格が取得できます。

所定の実務経験を経て次の受験資格が取得できます。

建築設備士, コンクリート主任技士, コンクリート技士, 1級鉄骨製作管理技術者, 2級鉄骨製作管理技術者

令和 7 年 3 月卒業者の就職先名・進学先学校名一覧

機械工学科	電気・電子システム工学科	情報工学科	環境都市工学科	建築学科
●就職 (株)明和 e テック (株) LIXIL 味の素(株) 宇宙航空研究開発機構 オークマ(株) 新明工業(株) 東海旅客鉄道(株) (2) 東レ(株) トヨタ自動車(株) 西日本旅客鉄道(株) パースクロステクノロジー(株) 浜松ホトニクス(株) 富士フイルム(株) ファナック(株) ブラザー工業(株) 三菱重工業(株) ヤマザキマザック(株) レンゴー(株) 防衛装備庁	●就職 (株) FUJI (株) LIXIL 出光興産(株) オークマ(株) 新明工業(株) 中部電力パワーグリッド(株) 浜松ホトニクス(株) 富士フイルム(株) ブラザー工業(株)	●就職 (株)アスパーク (株) jig.jp (株)デンソー (株)トヨタシステムズ (株)豊田中央研究所 (株)メンバーズ (株)U-NEXT HOLDINGS(3) 京セラ(株) KDDI エンジニアリング(株) CTC テクノロジー(株) ソフトバンク(株) デンソーテクノ(株) (2) 西日本電信電話(株) パナソニック(株)	●就職 (株) JERA 鹿島建設(株) (2) 中部電力(株) 中部電力ミライズ(株) 鉄建建設(株) 東海旅客鉄道(株) 東京水道(株) 東邦ガス(株) (2) 日本工営(株) 日本製鉄(株) メタウォーター(株) 国土交通省 (5) 国土地理院 岡崎市役所 刈谷市役所 豊川市役所 豊田市役所 (3) 草加市役所	●就職 (株)イリア (株)奥村組 (株)鈴木室内装飾 (株)竹中工務店 (3) (株)盛本構造設計事務所 (株) LIXIL 鹿島建設(株) JR 東海コンサルタンツ(株) 清水建設(株) 大成建設(株) (2) ダイダ(株) (2) 大和ハウス工業(株) 中部電力ミライズ(株) 東海旅客鉄道(株) (3) 東邦ガス 戸田建設(株) トヨタすまいるライフ(株) 雪印メグミルク(株) 豊田市役所
●進学 茨城大学 大阪大学 広島大学 九州大学 豊橋技術科学大学 (5)	●進学 北海道大学 東京農工大学 筑波大学 (2) 名古屋大学 名古屋工業大学 (6) 三重大学 京都大学 広島大学 九州大学 (2) 豊橋技術科学大学 (3) 長岡技術科学大学 (3) 公立千歳科学技術大学 豊田工業大学 (3)	●進学 北海道大学 東京大学 (3) 筑波大学 (2) 金沢大学 福井大学 信州大学 岐阜大学 名古屋大学 (2) 名古屋工業大学 三重大学 大阪大学 広島大学 (3) 豊橋技術科学大学	●進学 岐阜大学 (2) 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 (2) 立命館大学 宮崎大学	●進学 東京大学 千葉大学 名古屋工業大学 三重大学 京都工芸繊維大学 岡山大学 九州大学 鹿児島大学 豊橋技術科学大学 (3) 東京都立大学
豊田高専専攻科 (4)	豊田高専専攻科 (6)	豊田高専専攻科 (7)	豊田高専専攻科 (5)	豊田高専専攻科 (2)
●その他 未定	●その他 未定	●その他 未定	●その他	●その他
計34名	計42名	計44名	計38名	計39名

会社名については、令和 7 年 3 月現在
() 内の数字は 2 名以上の場合の人数

11. 入学料・授業料の免除

- (1)学資を主として負担している者が、入学前1年以内に死亡し、又は風水害を受けた場合など特別の事情により入学料の納付が著しく困難と認められる者に対し、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除することがあります。
- (2)高等学校等就学支援金制度(第1学年～3学年まで)
国の費用により、生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給する制度です。保護者(学生の親権者)の所得に応じて就学支援金が加算されることがあります。
- (3)高等教育における修学支援新制度(第4学年～専攻科第2学年)
経済状況(住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯、多子世帯)及び学力(成績・学習意欲等)・人物の条件に合う方が対象となります。授業料の減免に併せて、別途申請により奨学金も給付されます。なお、多子世帯の学生については、所得制限なく、授業料・入学金が無償となります。多子世帯とは扶養する子どもの数が3人以上である世帯のことです。
※学年にかかわらず、家計急変などの事情が生じた場合は、個別に御案内いたします。

12. 入学料の徴収猶予

経済的理由により納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、学資負担者が、入学前1年以内において死亡し、納付期限までに納付が困難であると認められる者及び入学する者若しくは学資負担者が、入学前1年以内において風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる者に対しては、入学料の徴収を猶予することがあります。

13. 奨学金

- (1)高等学校等奨学給付金
就学支援金を受給している第1学年～第3学年のうち、低所得世帯に対して、保護者が在住する都道府県から授業料以外の養育費に充てるための奨学給付金が支給されます。愛知県の場合、年額約30,000円～120,000円が支給されます。
- (2)日本学生支援機構貸与奨学金
学業・人物ともに優秀、かつ、健康であり、経済的理由により修業が困難である場合に、選考の上、奨学金の貸与(無利子)を受けることができます。(月額10,000円～22,500円。第4学年以降は増額されます。)
- (3)その他、地方公共団体・民間団体の育英事業や会社等の奨学制度があります。

14. 入学時に必要な主な経費

- (1) 学校関係(令和7年度参考)

項 目	金 額	項 目	金 額
入 学 料	84,600 円 (入学時のみ)	教科書, 教材教具代	約 50,000 円
授 業 料	117,300 円(半期分) 【年額 234,600 円】	独立行政法人日本スポーツ 振興センター共済掛金	1,550 円(年額)
		計	約 253,450 円

在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

また、原則として1年生から3年間(入学時より通算36月)は高等学校等就学支援金制度により、就学支援金が支給されます。

就学支援金は直接授業料に充当され、月額9,900円(年間118,800円)が授業料本人負担額から軽減されます。更に低所得世帯等の場合は就学支援金の加算があり、本人負担額が軽減されます。

(2) 学生寮関係経費(令和7年度参考)

項 目	入学時納入金額	後期(10月)納入金額
寄宿費	4,800 円 (個室)	4,800 円 (個室)
	4,200 円 (複数人部屋)	4,200 円 (複数人部屋)
入寮費	2,000 円 (入寮時のみ)	
共同費	46,800 円	52,000 円
寮生保護者部会費	2,400 円	2,400 円
寮生会費	3,000 円 (全期分)	
寝具リース代	7,500 円	7,500 円
計	66,500 円	66,700 円

- ・共同費は、学生寮等における光熱水費、空調維持費、物件費(清掃用品等)、人件費、積立金、回線使用料及び夜食費を示します。(社会情勢の影響等により金額が変更となります。)
 - ・寮生保護者部会費は、寮生の福利厚生・生活環境の充実等の助成にかかる事業費を示します。
- その他別途に給食費(朝、昼、夕の3食)として1か月当たり約 35,000 円程度が必要です。

(3) その他経費(令和7年度参考)

項 目	金 額	項 目	金 額
学 生 会 会 費	4,200 円 (年額 8,400 円)	教育後援会入会金	12,000 円 (入学時のみ)
同 窓 会 費	16,000 円 (入学時のみ)	教 育 後 援 会 費	12,000 円 (年額 24,000 円)
		計	44,200 円

出 願 様 式

受 験 番 号	※23-
---------	------

推 薦 書

令和 年 月 日

豊田工業高等専門学校長 殿

学 校 名 _____ 中学校

校 長 名 _____ 印

下記の者は、学業・人物とも優秀で貴校 _____ 学科への入学が適当と認められますので、推薦します。

記

氏 名		平成 年 月 日生	男・女
-----	--	-----------	-----

推 薦 理 由

1	志 望 動 機 人 物 所 見	
2	生徒会活動	
3	部 活 動	
4	学 外 活 動 (ボランティア 活動を含む)	
5	そ の 他 (資格・海外 生活経験等)	
記載責任者氏名		

※印欄は記入しないでください。

記入に当たっては裏面「推薦書記入上の注意事項」を参照してください。

推薦書記入上の注意事項

1. 推薦による入学者の選抜を希望する者のみ提出してください。

※印欄は記入しないでください。

本校ウェブページから本様式をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。

2. 「志望動機、人物所見」欄

本人が特に高等専門学校への入学を志望するに至った動機、理由並びに当該学科を選択した動機、理由等を本人から聴取して簡単に記入してください。

人物、性格等について、本人の特性をよく表現するような具体的な事項を、記入してください。

3. 「生徒会活動」欄

生徒会活動: 生徒会役員名(会長、副会長、書記、会計等、全校生徒から選挙によって選出されたもの)を具体的に記入してください。

4. 「部活動」欄

各種体育大会: 県大会出場等について、特記すべき事項があれば記入してください。

(大会の名称及び成績を具体的に記入してください。)

各種文化活動入賞者: 県大会出場等について、特記すべき事項があれば記入してください。(主催団体の名称又は個人入賞種目等を具体的に記入してください。)

5. 「学外活動」欄

学校外での活動(ボランティア活動を含む)等について、特記すべき事項があれば記入してください。

6. 「その他」欄

上記のほか、実用英語技能検定3級以上、実用数学技能検定3級以上、日本漢字能力検定3級以上、実用理科技能検定3級以上、新体力テストA等 資格取得、海外生活経験(1年以上(中学生))等があれば記入してください。

調 査 書

※ 推薦・学力	※ 23-
------------	----------

① 志願者		姓	名	性別	②第1 志望学科	学科
	ふりがな			男 ・ 女	③卒業年月	令和 年 月 卒業見込
	氏 名				④就学中の 移動・卒業 後の経歴	

⑤学習の記録	教科 学年・評定		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	外国語	評 定 合 計	⑥総合的な学習の 時間の記録
	2	評 定											
	3	評 定											

⑦特別活動の記録 (推薦選抜の場合で推薦書に記入した項目は省略可)		⑧行動の記録		⑨特別活動以外の諸活動の記録及び 特技 (推薦選抜の場合は⑦と同様)			
項 目	活動の事実	基本的な生活習慣					
学 級 活 動		健康・体力の向上					
		自主・自律					
		責任感					
生徒会活動		創意工夫					
		思いやり・協力					
		生命尊重・自然愛護					
学 校 行 事		勤 労 ・ 奉 仕					
		公 正 ・ 公 平					
		公 共 心 ・ 公 徳 心					

⑩出欠の記録			⑪第3学年の生徒数		⑫その他の特記事項	
学年	欠席日数	欠席の主な理由	学級数			
2年	日		生徒数	人		
3年	日		令和7年5月1日現在			

この調査書の記載事項に誤りのないことを証明します。 令和 年 月 日 所在地 郵便番号 住 所 学校名 校長氏名					学校の電話番号
					記載責任者氏名

(裏面「調査書記入上の注意事項」を参照してください。)

調査書記入上の注意事項

1. 黒インク又は黒ボールペンで記入してください。

本校ウェブページから本様式をダウンロードし、入力・印刷していただいてもかまいません。

2. ※印欄は、記入しないでください。

3. 「⑤学習の記録」欄について

- (1) 評定は、第2学年については学年末を、第3学年については2学期のものを記入してください。

なお、2学期制の場合は、第3学年については1学期（ただし、12月末の成績がある場合はその成績を優先）を記入してください。12月末を記入の場合は「⑫その他の特記事項」欄にその旨を明記してください。

- (2) 各教科〔外国語を含む。〕の評定は、各教科の学習についてそれぞれ5段階で記入してください。

5段階表示は、上位から5，4，3，2，1とします。なお、10段階評定で実施している場合は、5段階評定で記入してください。

4. 「⑥総合的な学習の時間の記録」欄について

学習活動の内容及び評価について、全学年若しくは特定の学年における顕著な事項等を中心に記入してください。

5. 「⑦特別活動の記録」欄について

推薦による入学者の選抜の場合は、推薦書に記入した項目は記入を要しません。

6. 「⑧行動の記録」欄について

各項目について、生徒指導要録の記録に基づき、第3学年を主たる対象として、十分満足できる状況にあると判断されるものについて○印を付してください。

7. 「⑨特別活動以外の諸活動の記録及び特技」欄について

特別活動以外の校内・校外における活動及び特技について次の(1)，(2)，(3)の各項目に該当する顕著な事実がある場合、それを具体的に記入してください。推薦による入学者の選抜の場合は、推薦書に記入した項目は記入を要しません。

- (1) 体力・運動能力に優れ、運動の分野での活躍が顕著である場合

- (2) 文化的・社会的活動が顕著である場合

- (3) 特技

8. 「⑩出欠の記録」欄について

第2学年末と第3学年の2学期での状況（調査書作成時点）を記入してください。

なお、2学期制の場合は、第3学年については1学期（ただし、12月末の成績を提出する場合は調査書作成時点）での状況を記入してください。

9. 「⑪第3学年の生徒数」欄について

第3学年の普通学級数とその生徒数を、令和7年5月1日現在で記入してください。

10. 「⑫その他の特記事項」欄について

その他の特記事項として、次の(1)，(2)，(3)，(4)の各項目に該当する特記すべき事項があれば記入してください。

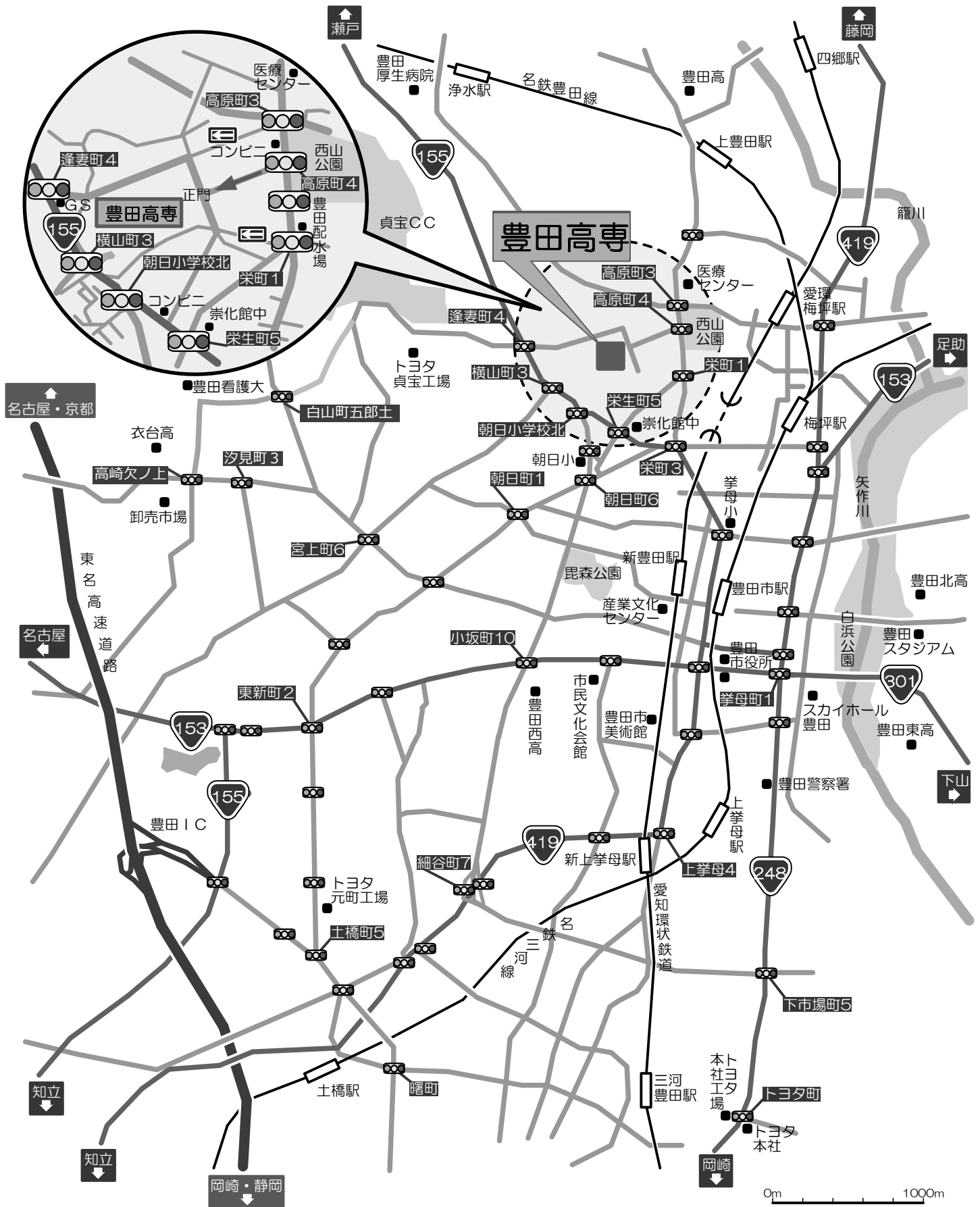
- (1) 生徒の学習面における進歩の状況、第1・2学年の成績と第3学年の成績とに著しい変動がある場合にはその事情等

- (2) 生徒の行動面において特に優れている点や長所、あるいは指導上特に配慮を要すると認められる事項

- (3) 生徒の身体、健康の状況について、指導上特に配慮を要すると認められる事項

- (4) 生徒の進路指導及び生活の状況、災害等に関する事項

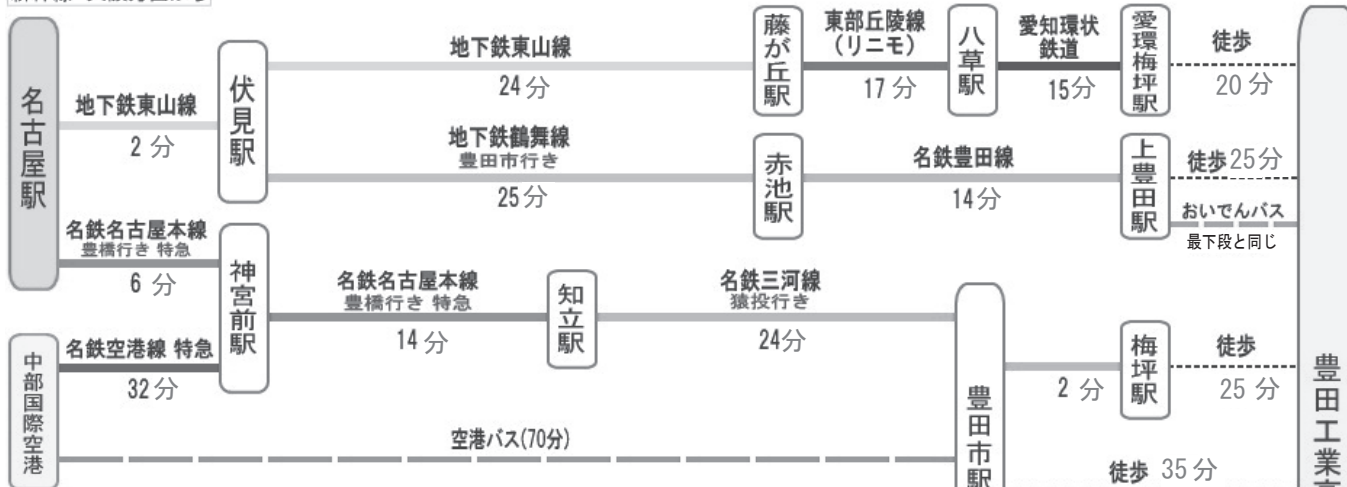
豊田高専周辺道路マップ



※道路交通規制に従い運転してください

交通アクセス

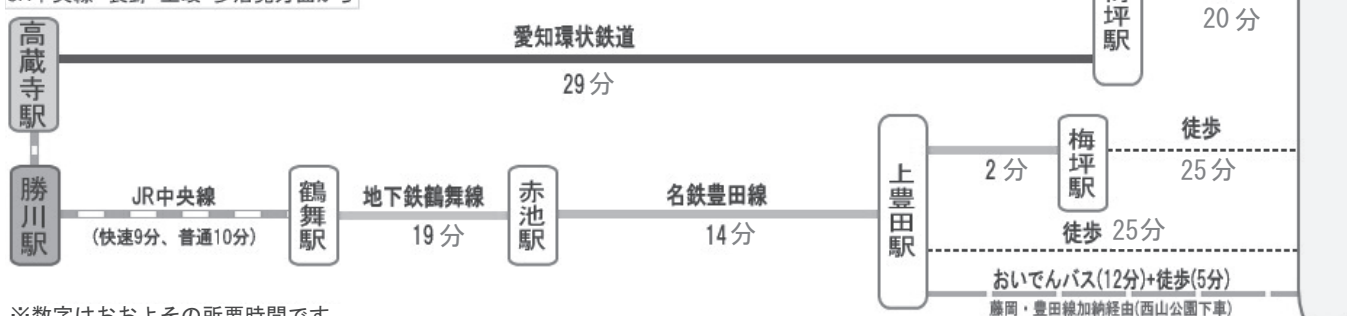
新幹線 大阪方面から



新幹線 東京方面から



JR中央線 長野・土岐・多治見方面から



※数字はおおよその所要時間です。
乗り換え時間は含みません。

入学者選抜に関する問合せ先

〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2丁目1番地
TEL 0565-36-5912 (学生課教務係)
FAX 0565-36-5922 (学生課教務係)
ホームページ <https://www.toyota-ct.ac.jp>
E-mail nyuushi@toyota-ct.ac.jp